

## 黄金に輝く大原八景『御供田の田んぼ』

ごくんで

大原八景の「御供田の田んぼ」が稲の刈り取りを前にして、一面に黄金の絨毯を敷きつめたように色づいています。一度、車を停めてゆっくり眺めてみてはどうですか。



御供田(ごくんで)は国道173号線の大原の西の入口にあたります。御供田(ごくうでん)とは、神様に供える為の穀物を作る田圃の事ですが、訛って「ごくんで」と呼ばれるようになったと考えられます。綾部から桧山に達する国道は、その昔、綾部藩の参勤や大原神社への参拝者が通る街道でした。古より多くの旅人が同じ景色を眺めたことであろうと歴史ロマンを感じさせます。